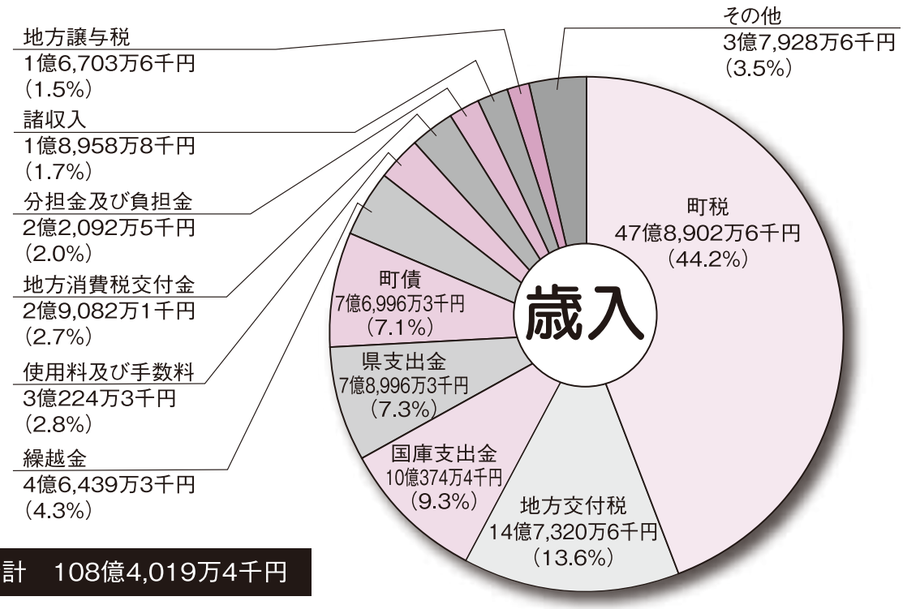
特集 平成25年度 決算報告

平成25年度の決算が、9月に行われた町議会第3回定例会で認定されました。今回は、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたのか、町の決算状況についてお知らせします。

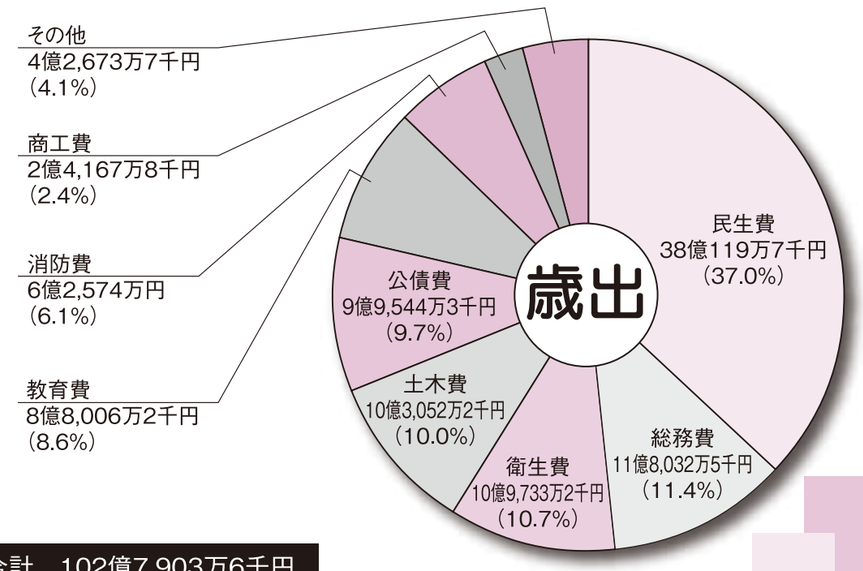
歳入の内訳



歳入合計　108億4,019万4千円

※その他の内訳は、繰入金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金等です。

目的別歳出の内訳



歳出合計　102億7,903万6千円

※その他の内訳は、農林水産業費、議会費、諸支出金です。

一般会計

一般会計は、私たちの暮らしに欠かすことのできない福祉や教育、防災、生活環境などにかかるお金の収支です。

歳入

平成25年度の歳入は108億4、019万4千円で、前年度に比べて5、036万2千円（0・5%）減少しました。

町税（10・3%増）

47億8、902万6千円

町民税については、企業収益の改善等により法人の大幅な伸びが見られました。固定資産税および都市計画税は工場建物の新築等により大幅な増収となり、町たばこ税は税率改正の影響により前年度と比較して10・0%の増収となりました。

地方交付税（12・0%減）

14億7、320万6千円

行政サービスの一定水準を確保するために必要な財源が不足する地方自治体に対して国が交付する普通交付税は、自主財源である固定資産税の増加に伴い財源不足額が圧縮されたことから、前年度比12・9%減となりました。また、特別な財政需要に対して交付される特別交付税は2・4%減となりました。

国庫支出金（21・9%増）

10億374万4千円

社会資本整備総合交付金や地域の元気臨時交付金等、普通建設事業費に対する補助金の増加により、全体で1億8、013万2千円の大幅な増となりました。

県支出金（2・8%減）

7億8、996万3千円

緊急雇用創出基金市町村事業補助金の減少や子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金の減少等により、全体で2、274万3千円の減となりました。

町債（27・2%減）

7億6、996万3千円

道路橋梁債、河川債、都市計画債などの土木債を1億6、760万円発行し、臨時財政対策債については6億236万3千円発行しました。一方、前年度発行のあった借換債の減少等により、全体では2億8、803万9千円の減となりました。

歳出

歳出は102億7、903万6千円で、前年度に比べて1億4、712万7千円（1・4%）減少しました。

■主な事業

民生費（0・2%減）

障害者総合支援給付事業　5億6、454万3千円
児童手当給付事業　5億783万6千円
保育委託事業　3億4、207万8千円

総務費（1・2%減）

電子計算システム管理運営事業　1億1、965万8千円
庁舎維持管理事業　9、245万6千円
行政区活動支援事業　2、628万1千円

衛生費（0・5%増）

汚泥再生処理センター維持管理事業　2億6、852万円
ごみ収集事業　1億1、024万6千円
予防接種事業　7、608万6千円

土木費（35・8%増）

道路改良事業　4億5、537万6千円
自由通路整備事業　2、796万4千円
街路整備事業　2、397万4千円

公債費（21・0%減）

元金償還金　8億6、352万6千円
利子償還金　1億3、190万4千円

教育費（1・8%増）

小・中学校費　3億1、376万1千円
給食施設費　1億2、766万9千円
鉢形城跡保存整備・歴史館事業　3、197万8千円

消防費（12・2%増）

消防事務委託事業　5億6、247万円
消防団運営事業　2、218万7千円

商工費（13・4%増）

観光振興事業　5、332万7千円
観光施設整備事業　2、789万4千円
工業振興事業　2、120万8千円

町民1人当たりが負担した町税

135,016円の内訳※

区分	金額(円)
固定資産税	70,315
町民税	52,223
町たばこ税	6,746
都市計画税	3,378
軽自動車税	2,204
入湯税	150

※平成26年3月31日現在住民基本台帳人口で算出しています。

町民1人当たりに使われたお金

289,795円の内訳※

区分	金額(円)
民生費	107,167
総務費	33,277
衛生費	30,937
土木費	29,053
公債費	28,064
教育費	24,811
消防費	17,641
商工費	6,814
その他	12,031